

---

# しばらくぶりに。

nakoso

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

しばらくぶりに。

### 【Nコード】

N4018D

### 【作者名】

nakoso

### 【あらすじ】

あの頃の『貴方』は、まだそばにいますか？

しばらくぶりに会った彼は、  
最後に会った時と同じ笑顔で、  
思わず気恥ずかしさを覚えた私は、

「髪切ったの？」

と見上げるふりして目を逸らした。  
あ、ダメだ。  
と思う。

「ほら、もうすぐだから」

何でもない顔で彼は言うんだけど、  
短髪の方がその顔立ちには似合うと思う。

しばらくぶりに2人で入った居酒屋は、  
最後に入った時と同じ騒々しさで、  
思わぬ錯覚を覚えた私は、

「相変わらず学生ばっかだね」

賑わう店内を見回すふりして横顔を盗み見た。  
あー、ダメだ。

やっぱり思う。

「2人、入れます？」

屈託のない笑顔で店員に指を立てる、  
その横顔のシルエットは変わっていない。

しばらくぶりに向かい合ったテーブルには、  
見覚えのあるタバコの焦げ痕があつて、  
過去の宣誓を思い出した私は、

「タバコはやめた？」

目を泳がせる彼を容易に思い描いて、  
それでもなお試みた。

お、もしや。

意表を突かれる。

「もちろん」

下がり気味の目尻から尖った顎先まで、  
笑顔で誇る彼の彼女を、初めて羨<sup>ウラヤ</sup>んだ。

しばらくぶりに交わした彼との会話は、  
積み<sup>セキ</sup>もった話が堰<sup>セキ</sup>を切り、  
止めどない漂流を楽しんでいた私は、

「わ、もうこんな時間」

不<sup>フシツケ</sup>賤な時計の針を、悟られぬよう睨み付けた。  
あーらら。

罪悪感を思い出す。

「出よつか」

支度にもたつく私の前から伝票だけを持ち去って、  
会計を済ませるその背中では、やっぱり変わっていないんだと思う。

しばらくぶりに彼を見送る改札口は、  
見るところ見るところ赤ら顔が並んでいて、  
終電間際にこった返す人波の前で私は、

「気をつけて帰ってね」

「おまえもな」

「裏切んなよ」

「？」

「彼女を」

「ああ、そういう事ね。裏切りません」

改札口の向こうから、彼が左手を振る。

かつては彼が隙間を埋めていた、  
私の右手を振り返す。

かつては私が隙間を埋めていた、  
彼の左手にはまる指輪。

裏切んなよ。

つかみ取った彼女を。

裏切んなよ。

幸せになれと願う、私の想いを。

あなたが初めての舞台で戸惑っている間、  
私は服を買っていようと思う。

あなた以上の幸せをつかもうと思う。

結婚おめでとう。

人波が掻き消した彼に背を向けて、私は歩き出す。

しばらくぶりに見つけた私は、  
それでもやっぱり私だった。



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4018d/>

---

しばらくぶりに。

2010年12月19日02時20分発行